

# おてら

## 報恩講

### 十一月十六日(木)

午前十一時より

おときの代わりに軽食をお配りします



親鸞聖人(1173-1263)

浄土真宗のご開祖親鸞聖人の御祥月御命日に  
「宗祖のご苦勞を偲び感謝し、そのみ教えを  
味あわせていただき、明日の私の生きる糧と  
させていただきます。法要です。」  
ぜひぜひご参拝下さい

常例十六日講  
毎月十六日午後一時より  
お経練習・法話会

写経会

毎月第二・四金曜日  
午後一時より

## 妻帯

位職 蒲原 霊英

織田信長が比叡山を焼き討ちした時に、女人禁制なのに女子供が沢山逃げ出したというのは有名な話ですが、そもそも本来の仏教の教えでは、戒律で妻帯は禁じられていました。しかし、国家的官位体系に組み込まれている顕密仏教(従来の仏教)の僧達(僧正・僧都・法印等)の間では、平安末期頃には妻帯が一般化していったようです。反対に、遁世してその体系から離脱した僧達(聖・上人・聖人等)は、遁世したならば性的禁欲を貫くものと考えられており、現実には妻帯が進行していったものの、妻帯しないのが通常であったようです。

そのような時代に、二十九歳で比叡山を下り、吉水の法然上人の下へ行かれた親鸞聖人は、遁世僧であるにも関わらず公然と妻帯されました。当然、聖人は悩み、師である法然上人に相談されました。その答えは、「お前が念仏を申すのに役に立つと思うのであれば、結婚したらよかろう」と。師の言葉に背中を押され、諸説有りますが、聖人は越後三善氏の娘である恵心尼公と結婚して数人の子供をもうけました。そして、越後に流罪となった折も、流罪赦免後に関東へ行かれた折も、ずっと夫婦で寄り添い、家族と共に生活をし、お念仏のみ教えを伝えられました。その後、息子の善鸞を関東に残して京都に帰られてからは、恵信尼公は越後のご実家の所領に戻られ、末娘の覚信尼が聖人のお世話をされたようです。そして、最晩年の八十四歳で善鸞を義絶。

このように聖人も、現代に生きる私達と同じように、家族を持ったが故の喜びも、また逆に、家族を持ったが故の苦しみや悲しみも味わわれました。そして、その自分の至らなさや悩みもがき苦しむ様子を、隠すことなく、ありのままに話されたり記されたりしました。だからこそ、生涯独身を貫き清僧と呼ばれた師の法然上人よりも、ずっとその言葉に人間臭さが感じられ、門信徒に限らず、現在まで数多の人々を魅了して止まないのだと思います。自分のことを「愚禿」と名乗られた親鸞聖人。おそらく聖人は、本當にご自分のことを愚か者だと思っておられたのでしょうか。そして、そんな愚かな私こそ救いのお目当てとされ、「あるがままのお前をそのまま救うぞ」という阿弥陀如来の喚び声を聞かせていただいて、真に心が救われたのだと思います。私は私で良いのだと。であるからこそ、南無阿弥陀仏のお念仏も、聖人の心の底から沸いて出て来る、喜びと感謝の言葉であったことでしょう。合掌



# 彼岸中日法要 永代経法要



九月二十三日午前十一時より秋彼岸中日法要がお勤めされました。コロナ禍でしばらくお齋が中止されて参りましたが、諸般の事情を考慮し、今後もお齋は行わず、代わりに軽食をお配りすることに致しました。長きに渡りお齋のお手伝いをしてくださった歴代の護持会婦人部の方々に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。参拝者も年々減少しております。皆様、年に春秋のお彼岸二回と報恩講の計三回位は、ご縁をいただきます。是非ご本堂と一緒にお念仏申し、ご本尊様に日頃の感謝を申し上げてはいかがでしょうか。

翌二十四日午後七時から、この一年間に永代経をご進納くださった方々をご招待し、浄光寺総永代経法要が営まれました。献灯・献花・献供物の後に読経が始まり、参拝者の方々が順次ご焼香。御文章拝読の後、住職よりご法話があり、本山御用達のお供物（亀屋陸奥「松風」）と記念品が下付されました。永代経は、どのような世になろうとも永代にわたり仏を供養し、み教えが伝わってゆくように、相互扶助たる「お互い様」の精神で、自分が今できる事をできる範囲でさせていただきながら、脈々と受け継がれて来しました。

## 赤澤美治会長ご逝去



あかざわ よしほる 会長  
赤澤 美治 会長  
享年 93歳  
いくどういんしやくしん  
育導院釋至心 靈位

九月一日、護持会会長の赤澤美治様が、享年九十三歳でご逝去されました。前会長野村幸雄様ご逝去の後、副会長から会長に就任していただき丸六年。浄光寺を支え、盛り立てて下さいました。個人的には、前任職から引き継いで「おてら」表面の法話を書き始めた頃、「なかなか良い文章書くね」とお褒めいただき、少し自信になったことを思い出します。また、日本最初の保育園である赤沢保育園の前園長として、長年、愛情溢れる保育を通して、下町の子供達の健全な育成に尽力されました。

謹んで哀悼の意を表し  
お念仏申し上げます

### 月忌納め法要

(おみがき)  
十一月十六日

午後一時より

仏様へ先祖様に一年の感謝を  
申し上げます

### 除夜会法要

十二月三十一日  
午後十一時半より

除夜の鐘を  
ついてみませんか  
豚汁の振る舞いがあります

